



ティーボールゲーム(ティーバッティングで守備がバックホームするまでに回った数)で優勝)で対決。王寺町本町の王寺工業高校グラウンド

## 少年野球 王寺コンドル

# もっと野球を好きになろう 高校生と小学生ら和氣あいあい

王寺工業高校  
硬式野球部

「いつも通り」  
プラス「丁寧に」

が速い」と歓声を上げて見入った。王寺コンドルジュニアの森賛治監督は「高校生が子どもたちの良いところを見つけて褒めてくれるのが良かった。楽しい、またやりたい、という良い循環になる」と感謝。同チームの坂田瑛介主将(王寺南小3年)は「高校生のお兄さんたちと野球ができる楽しめた。また一緒にやりたい」と笑顔を見せた。

見事な「仕切り」を見せた同校野球部の坂口悠斗主将(2年)は「何度もリハーサルして臨んだ。あまりない機会で、とても楽しかった」。本田監督は「野球を一生懸命にやるという意識は高校生でも小学生でも変わらないはず。『いつも通り』プラス『丁寧に』と心がけつつ、選手たちが主体となってやってくれた。今後も継続していきたい」と話した。

県立王寺工業高校硬式野球部と少なからず交流する「やわらぎ野球交流会」が4日、王寺町本町3の同校グラウンドで行われた。野球部員約20人と王寺コンドルの幼児から小学生約50人が和氣あいあいと野球を楽しんだ。王寺コンドル指導陣が「高校生の練習を見学させてもらえないか」と依頼し、同校野球部の本田知行監督が快諾。野球部員が自分たちで決めた「もっと野球を好きになろう!」をテーマに午前に幼稚園・小学3年、午後に4~6年と二部制で行った。高校生は子どもたちをリードし、野球に関連する動きを取り入れたゲームと一緒に楽しんだ。ノックなど高校生の練習を見学する時間では、子どもたちは口々に「すいごう。(動き)

県立王寺工業高校硬式野球部と少

なからず交流する「やわらぎ野球交流会」が4日、王寺町本町3の同校グラウンドで行われた。野球部員約20人と王寺コンドルの幼児から小学生約50人が和氣あいあいと野球を楽しんだ。

王寺コンドル指導陣が「高校生の練習を見学させてもらえないか」と依頼し、同校野球部の本田知行監督が快諾。野球部員が自分たちで決めた「もっと野球を好きになろう!」をテーマに午前に幼稚園・小学3年、午後に4~6年と二部制で行った。

高校生は子どもたちをリードし、野球に関連する動きを取り入れたゲームと一緒に楽しんだ。ノックなど高校生の練習を見学する時間では、子どもたちは口々に「すいごう。(動き)